

塗装や電子部品の不良の原因となるホコリ。品質管理の大敵であるホコリの対策機器を開発し、大手メーカーから注目を集めるのがTRINCC（トリンク、浜松市、高柳真社長）だ。従来品よりも効率的に静電気を取り除く機器や、逆に静電気を利用して空気中のホコリを集めるネットなど独自商品を開発。トヨタ自動車や日立製作所などの現場が次々と導入している。



高柳真社長

# キライ企業

——浜松市発——

TRINCC

## ホコリ対策機器を開発

「これは効果的だ。すぐにでも導入したい」。同社が一月に売り出した「ダストトラップネット」にトヨタがすぐ飛びついた。同商品は微弱な電気を流して帯電させた導線をネット状に張り、空気

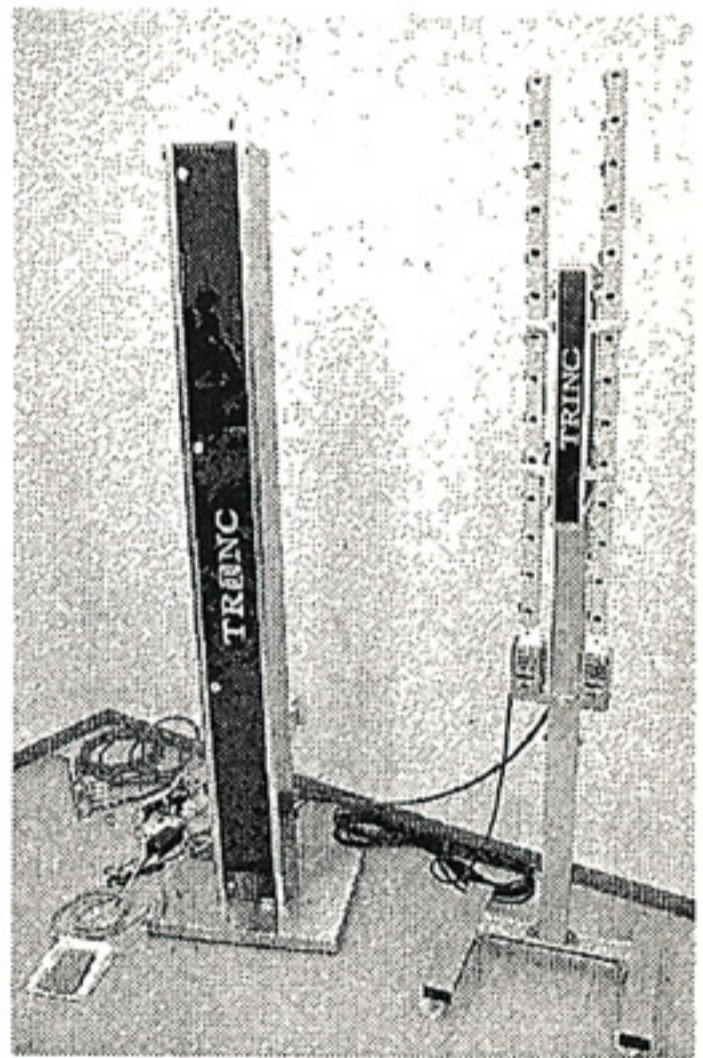
中のホコリを吸い取る新商品。工場の通路をネットで囲めば、通路から生産工程にホコリが入り込むのを防げる。サンプルを送ったトヨタの堤工場（愛知県豊田市）からは

### 《会社概要》

- ▽本社 静岡県浜松市西区大久保町748-37
- ▽社長 高柳真氏(63)
- ▽社電 053・482・3411
- ▽売上 4億2000万円(2007年1月期)
- ▽従業員数 約30人
- ▽事業内容 静電気除去機などの開発、販売

すぐに注文が来た。トリンクは元々、電子部品の受託設計を手掛けていた。ホコリ対策機器の専門メーカーに転身したきっかけは大手メーカーがホコリの問題に悩んでいるのを見て「これは商売になる」（高柳社長）と考えたからだ。最初はホコリ付着の原

TRINCCの静電気・ホコリ対策商品「ルームレスイオンシャワー」<sup>㊦</sup>と「空間トリンク」



因となる静電気対策から始まった。従来の静電気除去機はプラスとマイナスのイオンを発生させ、圧縮空気で飛ばして静電気を消し去る方式。だが風で逆にホコリが舞った。発生口を別々に分けて、イオンが相互に引き合うと問題が多い。「効果が不確かでおまじないみたいなもの」と工場関係者が自嘲（じちょう）気味でイオンが発生しないと

## 生産現場の悩み解決

いった問題もない。最初に納入した地元の塗装工場で不良発生率が大幅に減ったことが、口コミで各社に広がった。その後はトヨタの工場やパイオニアのプラズマデイスプレー工場、日立製作所の新幹線車両工場などが採用。ある工場では不良品の発生が四分の一も減少したという。この空間トリンクの派生品で、工場入室前に人につ着するホコリをとる「ルームレスイオンシャワー」なども開発。様々なホコリ対策の商品を用意し、高柳社長は「静電気やホコリ問題の駆け込み寺」と胸を張る。実際にホコリ対策に悩む企業から「うちの工場を見てほしい」と声がか

（浜松支局 小沼義和）